

緊急

H30岩船米生育速報(号外)

8月3日 村上農業普及指導センター

高温による品質低下が懸念されます 葉色が薄い場合は、追加の穂肥を！

出穂前の追加穂肥で栄養確保！

- ・高温、無降雨が続き、ほとんどのコシヒカリほ場では穂肥施用後も葉色が薄いままの状態です。
- ・このままでは、後期栄養不足により基部未熟粒が発生し、品質を大きく落とす恐れがあります。
- ・**出穂前に葉色を確認し、薄い場合は必ず追加の穂肥を施用しましょう！**

計画的に穂肥を施用出来なかったほ場や著しい葉色の低下が見られた場合には、出穂直前(走り穂)までに追加穂肥を実施しましょう。

【出穂直前穂肥が必要なコシヒカリ(判断時期は8月初め、出穂の6日前)】

めやす	施用時期	穂肥施用量
SPAD33以下 葉色板単葉4.5以下	出穂3日前まで	チッソ成分 1.0~1.5kg/10a

* 低地力ほ場で有機100%肥料を施用する場合は2kg/10aをめやすに施用しましょう
注) 葉色のめやすは、基肥や穂肥に有機入り肥料を用いた場合です。
簡易葉色板では、「適」よりもやや濃い程度でも追加穂肥が必要です。

用水が不足しています！ 節水を心がけましょう！

- ・輪番制の地域では通水日を確認し、効率的にかん水しましょう。
- ・給水口は開けたままにせず、入水が終わったら確実に止めましょう。
- ・天気予報を確認し、強風やフェーンが予想される場合は、事前に湛水しましょう。
- ・高温時の長期間湛水は水温が上昇し、根腐れの原因になるので注意して下さい。

☆出穂3日前(走り穂が見られる頃)までの追加穂肥で、品質低下を防ぎましょう！☆

問い合わせ先: 村上農業普及指導センター

TEL : 0254-52-7930 E-mail : ngt111240@pref.niigata.lg.jp